

夏の教科書・教育があぶない! 「中学校道徳教科書」採択は どうなるの?

道徳「愛国心」など自己評価欄
中学教科書検定 識者「考え縛りかねない」

小学校では今年度から、中学校では来年度から…と本格実施が進む「道徳の教科化」。

さいたま市教育委員会では、昨年夏、全国で批判の声があがった教育出版の道徳教科書を採択しました（埼玉県内23採択区のうち3地区のみ）。さいたま市103の小中学校が希望した教科書でもなく、「教科書選定委員会」が推薦した3社の教科書でもありませんでした。

今年の夏には、中学校の道徳教科書の採択が行われます。3月末に検定結果が公表されましたが、新聞報道によれば、8社のうち5社の教科書が、問題のある「自己評価欄」を設けていること、「安倍首相のブレン」と言われている人物が設立した教科書会社が新たに参入している…などの問題点が指摘されています。

夏の採択に向けて、各教科書の特徴と「道徳の教科化」について、学習を深めていきたいと思えます。ふるってご参加ください。

お話

俵義文さん

子どもと教科書全国ネット21 事務局長

【プロフィール】長年にわたって教育と教科書問題を研究されてきた第一人者。『日本会議の全貌—知られざる巨大組織の実態』『軍事立国への野望—安倍政権の思想的系譜と支持母体の思惑』『あぶない教科書NO!—もう21世紀に戦争を起こさせないために』など、著書・共著多数。

報告

さいたま市教育委員会の教科書採択状況について ほか

2018年 6月10日(日)
午後 1時30分～4時半

さいたま市民会館うらわ
7階 705・706 *資料代:500円

